

天皇家の歴史

【皇統融合系譜】

1. 神話期（神代）

- 天照大神（あまてらすおおみかみ）
↓（天孫降臨）
- 瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）
↓（日向三代）
- 邇邇芸命（ににぎのみこと）の子孫が九州南部を治める

2. 神武東征

- 神武天皇（じんむてんのう）（初代）＝瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）の曾孫
- 九州から大和へ進出し、橿原宮で即位（紀元前660年とされる）

3. 欠史八代（実在不明期）

- 綏靖天皇（すいぜいてんのう）～開化天皇（かいかてんのう）まで8代
- 記録は神話色が強く、考古学的裏付けは薄い

4. 古墳時代（実在確実期の入口）

- 崇神天皇（すじんてんのう）（第10代）頃から政治・宗教の分化が進む
- 仁徳天皇（にんとくてんのう）（第16代）の頃には巨大古墳など考古学証拠が豊富

5. 歴史確実期

- 欽明天皇（きんめいてんのう）（第29代・6世紀）以降、外交記録や同時代史料で実在確認可能
- 飛鳥～奈良～平安～鎌倉～室町～江戸～明治～現代と続く

6. 現代

- 今上天皇（きんじょうてんのう）（第126代・徳仁陛下）
- 神話から続く「万世一系」の物語が制度的にも維持されている

【皇統系譜（神代から現代まで）】

■ 神代（しんだい）

1. 天之御中主神（あめのみなかぬしのかみ）
2. 高御産巢日神（たかみむすひのかみ）
3. 神産巢日神（かみむすひのかみ）
4. 宇摩志阿斯訶備比古遲神（うましあしかびひこぢのかみ）
5. 天之常立神（あめのとこたちのかみ）
6. 国之常立神（くにのとこたちのかみ）
- ...（別天津神・神世七代を経て）

■ 天津神（あまつかみ）

7. 伊弉諾尊（いざなぎのみこと）
8. 伊弉冉尊（いざなみのみこと）
 - 国産み・神産み
 - 黄泉の国の物語

■ 天照系（あまてらすけい）

9. 天照大神（あまてらすおおみかみ）
 - 八咫鏡（やたのかがみ）を象徴とする
10. 天忍穗耳尊（あめのおしほみみのみこと）
11. 瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）【天孫降臨】
 - 三種の神器を携えて高千穂へ降臨
12. 彦火火出見尊（ひこほほでみのみこと）
13. 鵜葺草葺不合尊（うがやふきあえずのみこと）
 - 豊玉姫との間に神武天皇をもうける

■ 初代天皇以降

1. 神武天皇（じんむてんのう）
2. 綏靖天皇（すいぜいてんのう）
3. 安寧天皇（あんねいてんのう）
4. 懿徳天皇（いとくてんのう）
5. 孝昭天皇（こうしょうてんのう）
6. 孝安天皇（こうあんてんのう）

7. 孝霊天皇（こうれいてんのう）
8. 孝元天皇（こうげんてんのう）
9. 開化天皇（かいかてんのう）
10. 崇神天皇（すじんてんのう）
11. 垂仁天皇（すいにんてんのう）
12. 景行天皇（けいこうてんのう）
13. 成務天皇（せいむてんのう）
14. 仲哀天皇（ちゅうあいてんのう）
15. 応神天皇（おうじんてんのう）
16. 仁徳天皇（にんとくてんのう）
17. 履中天皇（りちゅうてんのう）
18. 反正天皇（はんぜいてんのう）
19. 允恭天皇（いんぎょうてんのう）
20. 安康天皇（あんこうてんのう）
21. 雄略天皇（ゆうりゃくてんのう）
22. 清寧天皇（せいねいてんのう）
23. 顕宗天皇（けんぞうてんのう）
24. 仁賢天皇（にんけんてんのう）
25. 武烈天皇（ぶれつてんのう）
26. 継体天皇（けいたいてんのう）
27. 安閑天皇（あんかんてんのう）
28. 宣化天皇（せんかてんのう）
29. 欽明天皇（きんめいてんのう）
30. 敏達天皇（びたつてんのう）
31. 用明天皇（ようめいてんのう）
32. 崇峻天皇（すしゅんてんのう）
33. 推古天皇（すいこてんのう）
34. 舒明天皇（じょめいてんのう）
35. 皇極天皇（こうぎよくてんのう）
36. 孝徳天皇（こうとくてんのう）
37. 斉明天皇（さいめいてんのう）
38. 天智天皇（てんじてんのう）
39. 弘文天皇（こうぶんてんのう）
40. 天武天皇（てんむてんのう）

41. 持統天皇（じとうてんのう）
42. 文武天皇（もんむてんのう）
43. 元明天皇（げんめいてんのう）
44. 元正天皇（げんしょうてんのう）
45. 聖武天皇（しょうむてんのう）
46. 孝謙天皇（こうけんてんのう）
47. 淳仁天皇（じゅんにんてんのう）
48. 称徳天皇（しょうとくてんのう）
49. 光仁天皇（こうにんてんのう）
50. 桓武天皇（かんむてんのう）
51. 平城天皇（へいぜいてんのう）
52. 嵯峨天皇（さがてんのう）
53. 淳和天皇（じゅんなてんのう）
54. 仁明天皇（にんみょうてんのう）
55. 文徳天皇（もんとくてんのう）
56. 清和天皇（せいわてんのう）
57. 陽成天皇（ようぜいてんのう）
58. 光孝天皇（こうこうてんのう）
59. 宇多天皇（うだてんのう）
60. 醍醐天皇（だいごてんのう）
61. 朱雀天皇（すざくてんのう）
62. 村上天皇（むらかみてんのう）
63. 冷泉天皇（れいぜいてんのう）
64. 円融天皇（えんゆうてんのう）
65. 花山天皇（かざんてんのう）
66. 一条天皇（いちじょうてんのう）
67. 三条天皇（さんじょうてんのう）
68. 後一条天皇（ごいちじょうてんのう）
69. 後朱雀天皇（ごすざくてんのう）
70. 後冷泉天皇（ごれいぜんてんのう）
71. 後三条天皇（ごさんじょうてんのう）
72. 白河天皇（しらかわてんのう）
73. 堀河天皇（ほりかわてんのう）
74. 鳥羽天皇（とばてんのう）

75. 崇徳天皇（すとくてんのう）
76. 近衛天皇（このえてんのう）
77. 後白河天皇（ごしらかわてんのう）
78. 二条天皇（にじょうてんのう）
79. 六条天皇（ろくじょうてんのう）
80. 高倉天皇（たかくらてんのう）
81. 安徳天皇（あんとくてんのう）
82. 後鳥羽天皇（ごとばてんのう）
83. 土御門天皇（つちみかどてんのう）
84. 順徳天皇（じゅんとくてんのう）
85. 仲恭天皇（ちゅうきょうてんのう）
86. 後堀河天皇（ごほりかわてんのう）
87. 四条天皇（しじょうてんのう）
88. 後嵯峨天皇（ごさがてんのう）
89. 後深草天皇（ごふかくさてんのう）
90. 龜山天皇（かめやまてんのう）
91. 後宇多天皇（ごうだてんのう）
92. 伏見天皇（ふしみてんのう）
93. 後伏見天皇（ごふしみてんのう）
94. 後二条天皇（ごにじょうてんのう）
95. 花園天皇（はなぞのてんのう）
96. 後醍醐天皇（ごだいごてんのう）
97. 後村上天皇（ごむらかみてんのう）
98. 長慶天皇（ちょうけいてんのう）
99. 後龜山天皇（ごかめやまてんのう）
100. 後小松天皇（ごこまつてんのう）
101. 称光天皇（しょうこうてんのう）
102. 後花園天皇（ごはなぞのてんのう）
103. 後土御門天皇（ごつちみかどてんのう）
104. 後柏原天皇（ごかしわばらてんのう）
105. 後奈良天皇（ごならてんのう）
106. 正親町天皇（おおぎまちてんのう）
107. 後陽成天皇（ごようぜいてんのう）
108. 後水尾天皇（ごみずのおてんのう）

- 109. 明正天皇（めいしょうてんのう）
- 110. 後光明天皇（ごこうみょうてんのう）
- 111. 後西天皇（ごさいてんのう）
- 112. 霊元天皇（れいげんてんのう）
- 113. 東山天皇（ひがしやまてんのう）
- 114. 中御門天皇（なかみかどてんのう）
- 115. 桜町天皇（さくらまちてんのう）
- 116. 桃園天皇（ももぞのてんのう）
- 117. 後桜町天皇（ごさくらまちてんのう）
- 118. 後桃園天皇（ごももぞのてんのう）
- 119. 光格天皇（こうかくてんのう）
- 120. 仁孝天皇（にんこうてんのう）
- 121. 孝明天皇（こうめいてんのう）
- 122. 明治天皇（めいじてんのう）
- 123. 大正天皇（たいしょうてんのう）
- 124. 昭和天皇（しょうわてんのう）
- 125. 上皇明仁（じょうこうあきひと）※平成天皇
- 126. 今上天皇（きんじょうてんのう）徳仁（なるひと）←現在**

【天皇家史観に吸収・消去された可能性のある古代王権】

1. 出雲王権（いずもおうけん）

- ・ 中心地：島根県東部（出雲大社周辺）
- ・ 象徴神：大国主命（おおくにぬしのみこと）
- ・ 神話での扱い：「国譲り神話」で天孫系に権力を譲る物語に改変
- ・ 実態推定：弥生後期～古墳前期、山陰・山陽一帯を支配した海陸交易国家

2. 吉備王国（きびおうこく）

- ・ 中心地：岡山県
- ・ 遺跡：造山古墳（日本4位の規模）、楯築墳丘墓
- ・ 神話での扱い：吉備津彦命（きびつひこのみこと）が登場し、大和側の将軍として描かれる
- ・ 実態推定：古墳文化初期において畿内と並ぶ巨大勢力

3. 北九州倭王権（きたきゅうしゅうわおうけん）

- ・ 中心地：福岡県～佐賀県
- ・ 史料：『魏志倭人伝』の「伊都国」「奴国」「不弥国」など
- ・ 神話での扱い：神武以前の勢力としてほぼ削除、海路や外交のエピソードのみ断片的に残存
- ・ 実態推定：朝鮮半島・中国との外交・交易の中継拠点として繁栄

4. 海人族（あまぞく）諸勢力

- ・ 分布：瀬戸内海沿岸、志摩、伊勢志摩、淡路、紀伊、九州沿岸
- ・ 神話での扱い：海神（わたつみ）や綿津見神の一族として登場
- ・ 実態推定：航海技術と交易ネットワークで影響力を持つ

5. 蝦夷王権（えみしおうけん）

- ・ 中心地：東北（北関東～北海道南部）
- ・ 史料：大和朝廷との戦い（アテルイ、モレ）
- ・ 神話での扱い：ほぼ神話に変換されず、反乱勢力として歴史の端に追いやられる
- ・ 実態推定：馬産、鉄資源、毛皮交易で繁栄

6. 隼人（はやと）勢力

- ・ 中心地：南九州（鹿児島～宮崎南部）
- ・ 神話での扱い：ヤマトタケル命の遠征や隼人舞の伝承に吸収
- ・ 実態推定：南方航路・貝塚文化・独自の軍事集団を保持

7. 葦原中国（あしはらのなかつくに）系諸国

- ・ 分布：山陽・山陰・北陸・関東の各地
- ・ 神話での扱い：「国譲り」の舞台として一括処理され、細部の支配系譜は消去
- ・ 実態推定：弥生末期～古墳期初期にかけて各地で独自王権が成立

【古代日本 多元王権マップ（天皇家統合前）】

[北海道・東北]

- 蝦夷王権（えみしおうけん）
 - 拠点：北関東～東北～北海道南部
 - 特徴：馬産・鉄資源・毛皮交易
 - 状態：大和朝廷との長期抗争（アテルイなど）

[北陸・関東]

- 葦原中国系諸国（あしはらのなかつくに）
拠点：北陸・関東各地
特徴：弥生末期～古墳初期に独自王権成立
状態：神話「国譲り」に統合され記録消失

[山陰]

- 出雲王権（いずもおうけん）
拠点：島根県東部（出雲大社周辺）
特徴：大国主命を祖とする海陸交易国家
状態：「国譲り神話」で天孫系に服属

[山陽]

- 吉備王国（きびおうこく）
拠点：岡山県
特徴：巨大古墳（造山古墳）・鉄資源
状態：吉備津彦命として大和側将軍に再設定

[近畿・瀬戸内海]

- 海人族諸勢力（あまぞく）
拠点：瀬戸内沿岸・志摩・淡路・紀伊・九州沿岸
特徴：航海・交易技術に優れる
状態：海神系神話に吸収

[九州北部]

- 北九州倭王権（きたきゅうしゅうわおうけん）
拠点：福岡～佐賀
特徴：「魏志倭人伝」の伊都国・奴国・不弥国
状態：神武以前の歴史として削除

[九州南部]

- 隼人勢力（はやとせいりよく）
拠点：鹿児島～宮崎南部
特徴：南方航路・独自軍事文化
状態：ヤマトタケル伝承・隼人舞に吸収